十四　第二期以後の利子　毎年六月二十日及び十二月二十日を支払期とし、各支払期において、その日以前六月間に属する利子を支払う。
十五　償還期限　平成二十七年十二月二十日
十六　償還金額　額面金額百円につき百円
十七　元利金支払場所　日本銀行
十八　入札参加者　財務大臣から通知を受けた者
十九　払込期日　平成二十二年十二月二十日

**○財務省告示第三号**

国債の発行等に関する省令（昭和五十七年大蔵省令第三十号）第五条第十一項の規定に基づき、平成二十二年十二月二十日に発行した利付国債の発行条件等を次のとおり告示する。

平成二十三年一月六日

財務大臣　野田　佳彦

一　名称及び記号　利付国庫債券（十年）（第三百十二回）
二　発行の根拠法律及びその条項　財政法（昭和二十二年法律第三十四号）第四条第一項及び平成二十二年度における財政運営のための公債の発行の特例等に関する法律（平成二十二年法律第七号）第二条第一項並びに特別会計に関する法律（平成十九年法律第二十三号）第四十六条第一項、第四十七条及び第六十二条第一項
三　振替法の適用等　社債、株式等の振替に関する法律（平成十三年法律第七十五号。以下「振替法」という。）の規定の適用を受けるものとし、その振替機関は日本銀行とする。
四　発行方法　価格を競争に付して行われる入札（以下「価格競争入札」という。）による発行（以下「価格競争入札発行」という。）、価格競争入札と同時に行われる入札であって、価格競争入札において定められた利率をその利率とし、価格競争入札において募入の決定を受けた各申込みの応募価格を募入額により加重平均して得られる価格をその発行価格とするものによる発行（以下「非競争入札発行」という。）、価格競争入札と同時に行われる入札であって、財務大臣が各国債市場特別参加者ごとに応募限度額を定めるものによる発行（以下「国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行」という。）及び価格競争入札の募入の決定をした後に行われる入札であって、財務大臣が各国債市場特別参加者ごとに応募限度額を定めるものによる発行（以下「国債市場特別参加者・第Ⅱ非価格競争入札発行」という。）

イ　価格競争入札発行　各申込みのうち応募価格の高いものからその応募額を順次割り当てる。
ロ　非競争入札発行　各申込みの応募額を案分により割り当てる。
ハ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行及び国債市場特別参加者・第Ⅱ非価格競争入札発行　各国債市場特別参加者ごとの応募限度額の範囲内において各申込みの応募額を割り当てる。

五　募入決定の方法

六　発行額

イ　価格競争入札発行　額面金額で一兆九千九百八十一億円
ロ　非競争入札発行　うち、財政法第四条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で三千九百九十六億三千五十万円、平成二十二年度における財政運営のための公債の発行の特例等に関する法律第二条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で六千二百四十四億二千二百六十五万円、特別会計に関する法律第四十六条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で七千九百四十二億千三百十五万円、同法第六十二条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で千七百九十八億三千三百七十万円
ハ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行　特別会計に関する法律第四十六条第一項の規定に基づき発行した利付国債について、額面金額で百六億八千八百万円
ニ　国債市場特別参加者・第Ⅱ非価格競争入札発行　特別会計に関する法律第四十六条第一項の規定に基づき発行した利付国債について、額面金額で千九百五億円

七　払込金額

イ　価格競争入札発行　額面金額で三千二百三十一億円のうち、特別会計に関する法律第四十六条第一項の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で二百五十一億五千二百十五万円、同法第四十七条の規定に基づき発行した利付国債については、額面金額で二千九百七十九億四千七百八十五万円
ロ　非競争入札発行　一兆九千九百九十九億五千二百四十万円
ハ　国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行　百六億九千七百六十一万九千二百円
ニ　国債市場特別参加者・第Ⅱ非価格競争入札発行　千九百六億七千百四十五万円

八　最低額面金額　三千二百三十三億九千七十九万円

九　振替単位　五万円　振替法の規定による振替口座簿の記載又は記録は、最低額面金額の整数倍の金額によるものとする。

十　発行日　平成二十二年十二月二十日

十一　発行価格

イ　価格競争入札発行　額面金額百円につき百円一銭以上のそれぞれの応募価格
ロ　非競争入札発行、国債市場特別参加者・第Ⅰ非価格競争入札発行及び国債市場特別参加者・第Ⅱ非価格競争入札発行　額面金額百円につき百円九銭

十二　利率　年一・二パーセント

十三　初期利子　平成二十三年六月二十日を支払期とし、次の算式により算出した金額を支払う。ただし、支払期が銀行休業日に当たるときは、その翌営業日に支払う（以下、次号及び第十五号において規定する期日について同じ。）。

$$額面金額 \times \frac{1.2}{100} \times \frac{1}{2}$$

十四　第二期以後の利子　毎年六月二十日及び十二月二十日を支払期とし、各支払期において、その日以前六月間に属する利子を支払う。
十五　償還期限　平成三十二年十二月二十日
十六　償還金額　額面金額百円につき百円
十七　元利金支払場所　日本銀行
十八　入札参加者　財務大臣から通知を受けた者
十九　払込期日　平成二十二年十二月二十日

**○財務省告示第四号**

国債の発行等に関する省令（昭和五十七年大蔵省令第三十号）第五条第十一項の規定に基づき、平成二十二年十二月二十日に発行した利付国債の発行条件等を次のとおり告示する。

平成二十三年一月六日

財務大臣　野田　佳彦